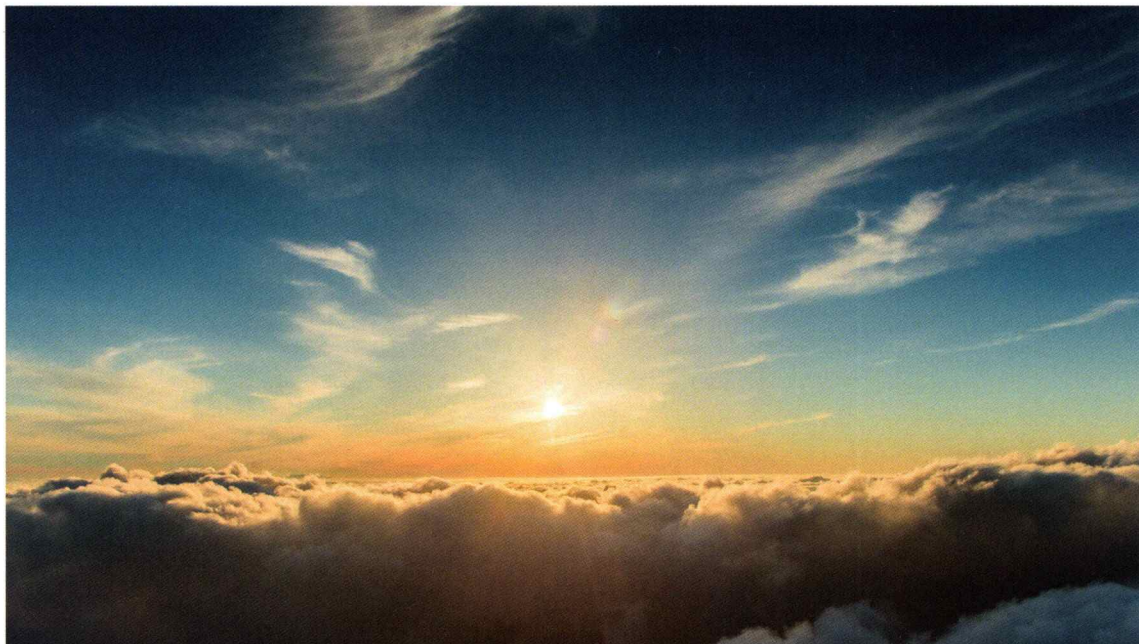


# 和顔愛語

寺報

令和4年12月号



## 年末は穏やかに よりいい一年になりますよう

### 今

年は春秋のお彼岸、お盆の  
ご回向等、少しずつ例年通  
りになって参りました。一方で世  
間では悲喜こもごものニュースが  
ありました。2月には北京五輪が  
開催され、日本勢は冬季五輪史上  
最もよい成績を残しました。その  
一方、海外ではロシアがウクライ  
ナに侵攻し、戦争が開始。様々な  
報道がなされていますが、終息の  
兆しはまだまだないようです。5月  
には沖縄が本土復帰50周年となり、  
6月は参院選挙が公示、この選挙  
運動期間中の7月8日に安倍晋三  
元首相が銃撃され死亡するという  
衝撃の事件が起こったことは記憶  
に新しいでしょう。さらに、政治  
と旧統一教会の関係が話題にのぼ  
り、今も追及の渦中にあります。

れました。11月は岐阜で「信長ま  
つり」が開催され、俳優の木村拓  
哉さんが信長役として登場し、大  
きな話題を集めました。

さて、今年一年の時事を並べ  
てみましたが、みなさんの記憶  
には何が残っていたでしょうか。  
「ああ、こんなことがあった」と  
感じた方もいれば、身近な方との  
出来事の方が記憶にあるという方  
もいるでしょう。光陰矢の如しと  
いいますが、齢を重ねると覚えて  
いることが多くなり、一つ一つの  
出来事が小さく感じられるよう  
です。そして、瞬く間にそれらが積  
み重なり、時間の経過を早く感じ  
る。時間が早く感じると見失うも  
のも出てくることと思います。

忙しい日々を送っているからこ  
そ年末年始はお仏壇やお墓をきれ  
いにして心を落ち着かせてくださ  
い。その瞬間はきつと時間がゆっ  
くりと流れ、穏やかに過ごすこと  
ができるでしょう。阿弥陀様やご  
先祖様に手を合わせ、来年はより  
いい年になりますようにと祈念い  
たしましょう。

# お経の意味を知ろう⑩ ～日常勤行式編～

## そう え こう げ 【総回向偈】

浄土宗では「日常勤行式」と呼ばれる式次第に則って読経します。式次第に書かれているお経(偈文)について毎号解説します。

願がんに以此し功く徳どく

平等びやうどう施せ一切いっさい

同どう発ほつ菩ぼ提だい心しん

往生おうじやう安あん楽らく国こく

十念じゅうねん（南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏）

### 【意識】

このお経やお念仏の功徳を、全ての人々と平等に分かちあい、ともに悟りを求める志をおこして、阿弥陀仏の浄土である安楽な世界に生まれたいと願います。

「お経ってどんなことが書かれているの？」誰しも一度はそんな疑問を持ったことがあるのではないのでしょうか。

お経はお釈迦様の教えを文章にまとめたものです。「ここでは日頃のおつとめ(勤行)で読経する式次第をまとめた「日常勤行式」を丁寧に解説していきます。

### 【解説】

「総回向偈」では、お念仏の功徳を縁のあるなしにかかわらず、あらゆる人々にも回し向け、ともに往生できるように願いながらとなえます。

自らが積んだ功徳を全ての人々にふり向けるという点は皆で共に極楽往生を願うという浄土宗の教えの要であり、

見ず知らずの他人同士が支え

合える世界と考えると温かい気持ちにさせてくれます。お念仏や木魚をうちながら唱える「誦経」の誦誦が功徳となりますが、その功徳について

『無量寿経』では「大利益を徳となす。すなわちこれ無上の功徳を具足す」とあり、法然上人も主著『選択集』の中

で「無上大利の念仏」とし、その功徳が広大無辺であるとしています。阿弥陀様からいただいたこのお慈悲を、一人だけで享受するのではなく、全ての人々にもおすそ分けしようという心が大切なのです。

おすそ分けというと、近年ではSDGsやフードロスの観点から、家庭などで余った食品を学校や企業に持ち込み、地域の福祉団体やフードバンクに寄付する活動も行われるようになってきました。浄土宗でもご本尊にお供えされた菓子等を「おさがり」として頂戴し、必要とする各家庭に届ける活動があります。まさに「縁のあるなしに関わらず、あらゆる人々に回し向ける」という回向の精神が現れた社会活動といえるでしょう。

お念仏の中で慈しみの心が培われ、互いに思いやりの心で接しあう。こんな慈しみの社会も私たちに授けられた功徳でありましょう。

## 浄土宗の

### 基礎知識

#### 月影杏葉と三つ葉葵

皆さんが首からかける輪袈裟や本堂などで、左上のマークを見かけたことはありませんか。これは浄土宗の紋章で、図柄は法然上人の生家・漆間家の家紋である「杏葉」に「月影」を配したもので「月影杏葉」と呼びます。

また左下にある三つ葉葵の紋は浄土宗の寺院で使うことを許されており、これは江戸に幕府を開いた徳川家康が、芝の大本山増上寺を菩提寺とし、その増上寺の宗派が浄土宗だったことに由来しています。



月影杏葉



三つ葉葵

# 伝えたい言葉 (9)

罪人なりとても疑うべからず、罪根深きをもきらわじとのたまえり

〔一紙小消息〕 一部抜粋

〈現代語訳〉

罪人であっても往生を疑ってはなりません。阿弥陀様は罪深い者も嫌うことがないとおっしゃっています。

法然上人が生前残された言葉を「ご法語」といいます。そのなかで最もよく読まれるのが「一枚起請文」で、その次が「一紙小消息」です。

「消息」とは手紙のことですが「一紙小消息」は手紙のような体裁で書かれていせん。また誰宛かも不明ですが、阿弥陀様

の功德や信仰の喜びを説き、法然上人の言葉として長らく大切にされてきました。

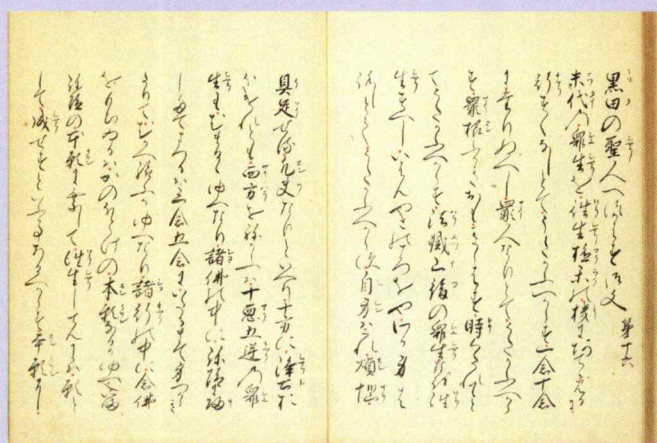
このご法語は「お釈迦様がいなくなり、仏教が衰退する時代の人間を、極楽往生できるかどうかの観点に照らしてみると」と書き始められ、往生できる人がどのような人かを説明しています。

法然上人はまず、修行が足りないからといって往生を疑ってはならないといっています。当時は阿弥陀様の極楽浄土へ行くためには、かなりの修行が必要と考えられていました。極楽浄土は数ある仏様の世界の中で最も格の高い場所と考えられ、そこへ行くためにはたくさんの修行、正しい生活や高い身分、また布施などによる寺院への貢献が必須と考えられていたのです。そのため、法然上人以前の極楽浄土の信仰は、貴族を中心しか広まっていまませんでした。

一方、法然

上人にそのような考えはありませんでした。お経には「南無阿弥陀仏と十回となれば往生できる」と書かれていたので、それを信じてお念仏をとなれば誰もが極楽浄土へ往生できると上人は主張します。

そのような極楽浄土は「罪を犯した人」も迎え入れてくれます。人間は生きていくうちに様々な過ちを犯します。法然上人の時代は源平合戦をはじめ戦も多く、人を殺めた武士も大勢いました。法然上人はそのような罪深い人達でも救われるために、阿弥陀様は極楽浄土を用意したのだと考えました。



## 一コラム一

「一紙小消息」は「黒谷の聖人へつかわす御文（写真上）」とも呼ばれる。法然上人が黒谷の聖人へ宛てた手紙の意。この聖人が誰かについて詳しいことはわかっていない。

出典：『黒谷聖人語燈録』 巻4 / 佛教大学附属図書館所蔵

そしてその救いがあるからこそ、自分の罪を自覚し、「こんな罪を犯した私にはもう阿弥陀様しかない」と信じるのが大事で、罪を犯したから救ってもらえない、などと阿弥陀様を疑ってははいけません。様々なめぐりあわせで時に悪いことをしてしまう私達を見捨てることなく、阿弥陀様は必ず救ってくださるのです。

# Q&Aですぐわかる! なるほど浄土宗

⑩

身近な仏教の疑問をQ & A  
形式で説明します!

——お坊さんの衣の色が違うのは  
なぜですか?

——大きな法要に参列すると、僧侶の衣の色の違いが気になった人もいることでしょう。古くから仏教では出家した修行者は、その証として袈裟をまといます。お袈裟は一枚の布でできており、もともとタイの僧侶が身につけるオレンジ色の服のようなものでした。今でも東南アジアの僧侶はこれを身につけていますが、長い年月を経て他国では風土に合うよう形が変化し、お袈裟とは別の衣ができました。



ができました。



緋衣に次いで位の高い紫衣。被着には浄土宗からの許可が必要となっている。

日本では様々な色の衣があります。このような色のついた衣は「色衣」と呼ばれます。色衣の始まりは中国の唐の時代で、王様が国家に貢献した僧侶に紫の衣を与えたことに始まります。紫は高位の官職の服の色であり、それが位の高い僧侶の証となったのです。日本にもこの風習が伝わり、紫色の衣は朝廷から許可された者しか着ることが許されず、高僧の証明となりました。そのうち江戸時代になると、この上に緋衣(赤い衣)が制定されます。現在の浄土宗では、萌黄(緑色の衣)、松襲(縦横の糸をそれぞれ紫と緑で織った衣)、紫衣、緋衣と四種の色衣が用いられ、僧侶としての修行が進むにしたがって、着るべき衣の色が変化します。

## 令和五年 年回一覽

|        |       |
|--------|-------|
| 令和四年   | 一周忌   |
| 令和三年   | 三回忌   |
| 平成二十九年 | 七回忌   |
| 平成二十三年 | 十三回忌  |
| 平成十九年  | 十七回忌  |
| 平成十三年  | 二十三回忌 |
| 平成九年   | 二十七回忌 |
| 平成三年   | 三十三回忌 |
| 昭和六十二年 | 三十七回忌 |
| 昭和四十九年 | 五十回忌  |

\* \* \*  
年回法要にあたられていらっしゃるお檀家様はなるべくお早めにご法事の日程をお知らせください。  
ご法事の当日までに、お塔婆をお上げになる方のお名前と、当日いらっしゃる人数をご連絡ください。  
また、当日は  
・お写真  
・お供物(故人様の好物など)  
・墓地用仏花  
をお持ちくださいますようお願い申し上げます。

### 普照山 正定寺

■所在地  
〒111-0036 東京都台東区松が谷2丁目1-2  
■TEL: 03-3841-1853 ■FAX: 03-3841-1777

### 紫金山 静蓮寺

■所在地  
〒110-0004 東京都台東区下谷1丁目12-21  
■TEL: 03-3843-4034 ■FAX: 03-3843-3442

### 母沖山 清見寺

■所在地  
〒100-2211 東京都小笠原村母島字元地122

## 代理墓参 承ります

コロナ禍でなかなかお墓参りにも行けない...  
そんなお声が多数寄せられましたので、住職が代理でお墓を掃除し、お参りをいたします。  
ご希望の方は、直接ご連絡いただくか、冥加料を現金書留にてご郵送ください。  
後日お参りの様子をお手紙にてお送りさせていただきます。

